

ZANDEN Model 120 の活用(14) —Model 120 設定条件の試聴(14)—

1. 始めに

前報(13)に引き続き、アナログ盤を選定して Model 120 の設定条件を替えて試聴していきます。今回は、ZANDEN のリストにないレーベルの盤を選定しました。

2. Model 120 設定条件の試聴方法

カートリッジは、My Sonic Signature Gold で、接続に関しては、ZANDEN Model 120 の導入(2)と同様、下記のとおりとします。

LP-12→(フォノケーブル)→AACU-1000→Model120(アンバランス入力端子→アンバランス出力端子)→(アンバランス/バランス変換ケーブル)→P&G フェーダー(バランス入力端子→バランス出力端子) →BACU-2000→300B シングルアンプ(バランス入力端子)

なお、クロスチェックの意味で、カートリッジは、ZYX R100-EX とし、接続に関しては、Garrad401 の再構成(10)と同様、下記も使用します。

Garrad401→(フォノケーブル)→Stage1030(アンバランス入力端子→アンバランス出力端子)→AACU-1000→(RCA ケーブル)→Brooklyn DAC+(アンバランス入力端子→バランス出力端子)→BACU-2000→(バランスケーブル)→P&フェーダー(バランス入力端子→バランス出力端子)→BACU-2000→(バランスケーブル)→300B シングルアンプ

音源としては、下記の盤を選んで聴いていきます。

ACCENT OX-1213-AG

J.ハイドン：六つの三重奏曲 (日本コロムビア)

クイケングループ



ACCENT OX-1225-AG (日本コロムビア)

J.S.バッハ・C.P.テレマン・C.Ph.E.バッハ：ドイツバロックの室内楽
クイケングループ

ASTREE HM61 (harmonia mundi France)

F.クープラン：クラブサン集
Blandine Verlet

3. Model 120 設定条件の試聴結果

試聴は、RIAA の正相からスタートして、種々切り替えて聴いていき、良さそうなど
ところで、第 4 時定数も決めていきます。

ACCENT OX-1213-AG の六つの三重奏曲は、RIAA の正相からスタートして、逆相
にすると音が散漫になり、カーブを種々切り替えて聴いてみましたが、RIAA の正相
以外は、強調感があってバランスが崩れます。第 4 時定数も High のままで十分で
す。ジャケットにも RIAA と書いてあり、1978 年の録音ですので、古典的なカーブ
ではないという結果は首肯できます。

ACCENT OX-1225-AG のドイツバロックの室内楽は、1980 年の録音でジャケットに
も RIAA とは書いてありませんが、ACCENT OX-1213-AG の六つの三重奏曲と同様
の結果です。

ASTREE HM61 のクラブサン集は、1978 年の録音で、RIAA の正相からスタートし
て、逆相にすると音が散漫になり、カーブを種々切り替えて聴いてみましたが、
RIAA の正相以外は、チェンバロらしい繊細さが失われます。第 4 時定数も High の
ままで十分です。Garrad401 の ZYX R100-EX でも聴いてみましたが、位相反転する
と、チェンバロの音像が広がり、定位が曖昧になります。

4. まとめ。

今回聴いた ACCENT と ASTREE レーベルは、RIAA、正相で第 4 時定数も High と
いう結果になりました。

以上